

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

高松港ニュース

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2026

春号

<No.212>

CONTENTS

- 新任所長のご挨拶
- 高松空港ILS高カテゴリー化事業
- 高松南高校現場見学会
- 「アイランド・スカイ」高松港初入港



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所



令和8年3月20日 ル・ジャック・カルティエ

総トン数:9,900トン
全長:131メートル
乗客定員数:184人
所属:ポナン社(仏)

「新任所長のご挨拶」

令和8年4月1日付で事務所長を拝命いたしました、榊原 基生(さかきばらもとお)と申します。四国地整での勤務は初めてとなりますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

着任早々、令和8年度予算において「高松空港」の高カテゴリー化事業が新規事業として採択されました。本事業は、濃霧などの視界不良時においても安全な着陸を可能とする高性能な着陸誘導装置を整備するものです。高松空港では、濃霧による遅延や欠航、目的地変更が多く発生しており、令和7年度には29便が着陸不可となりました。本事業により、こうした課題の解消と交流の拡大による経済効果が期待されます。関係者の皆様のご理解とご協力を賜りながら、安全かつ着実に事業を推進してまいります。

令和2年度より進めております高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナル整備事業については、現在、岸壁の基礎となる部分を施工しております。今年度も工事の実施にあたり、関係事業者等との協力・連携を一層強化し、何よりも安全第一で事故防止に努めてまいります。

昨年開催された瀬戸内国際芸術祭では、瀬戸内海の島々に延べ約109万人が来訪されました。旅行を趣味とする私自身も、今後プライベートで各島を訪れたいと考えております。次回は令和10年の開催が予定されており、それまでの間、高松や各島の港周辺のさらなる発展と活用に向け、積極的に取り組んでまいります。

世界の海上輸送の要衝であるホルムズ海峡の緊張は、エネルギーや物流に大きな影響を及ぼしており、安定した航路の重要性を改めて示しています。当事務所では、瀬戸内海における海上交通の要衝である備讃瀬戸航路の開発・保全に関する工事を実施してきております。国際情勢が不安定な今、国内航路の機能維持は、我が国の物流と国民生活を支えるうえで極めて重要です。引き続き、同航路の開発と保全に万全を期してまいります。

高松港湾・空港整備事務所長

榊原 基生

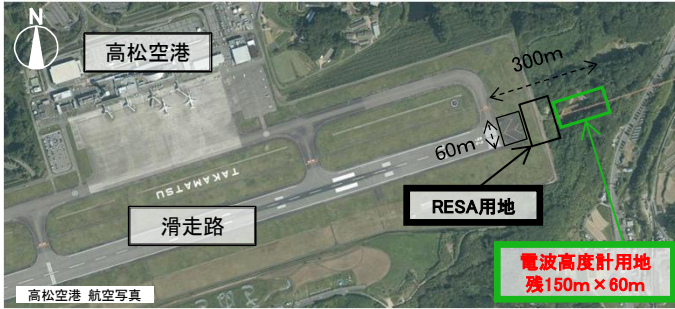


高松空港ILS高カテゴリー化事業



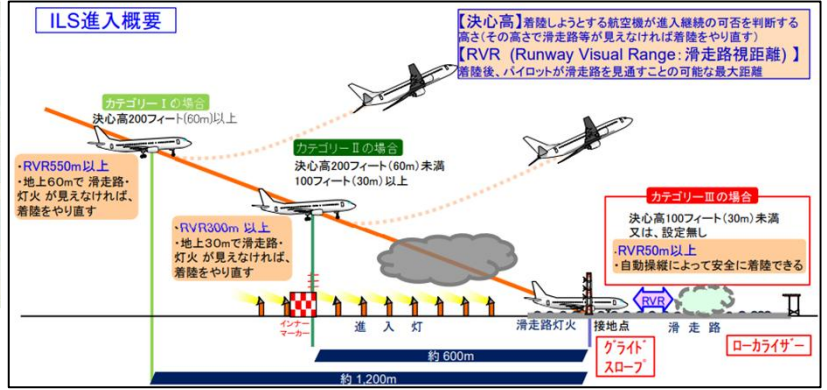
高松港湾・空港整備事務所では、新規直轄事業として高松空港における濃霧対策を目的にILS（Instrument Landing System: 計器着陸装置）の高カテゴリー化事業を開始します。ILSとは、着陸のため滑走路に進入中の航空機に対して指向性のある電波を発射し、滑走路への進入コースを指示する着陸援助装置のことです。今回の事業では、精度の非常に高いILS（カテゴリーⅢ）を導入するための整備を行います。

ILS（カテゴリーⅢ）運航を行う場合、着陸前に航空機に搭載された電波高度計を使い高度情報を把握する必要があります。そのため、航空機から発射された電波を反射させるための「電波高度計用地」の整備が求められます。この用地は、滑走路端から長さ300m×幅60mの平坦な区域が必要であり、当事務所ではRESA用地の整備と合わせて、残り150m×60mの整備を進めていきます。



高松空港 航空写真

出典：国土地理院ホームページ「地図・空中写真閲覧サービス」より航空写真を加工



出典：高松空港ILS高カテゴリー化事業における新規事業採択時評価について（国土交通省 航空局令和8年3月）より資料を加工（上図、左図）

RESA：離着陸時にアクシデントが発生した場合に航空機の損傷を軽減させるため、滑走路の両端に設けられる滑走路端安全区域のこと（Runway End Safety Areaの略称）

高松南高校現場見学会

3月25日、香川県立高松南高等学校 環境科学科の生徒（15名参加）の皆さんを対象に高松港見学会を開催しました。港湾業務艇「さんせと」による港内周回に続き、サンポート高松シンボルタワー29階展望室および朝日地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の整備状況を見学しました。普段見ることのできない眺望や景色は、生徒の皆さんにとって貴重な体験となったものと思われます。その後、当事務所において座談会を行い、港湾・空港に関する業務内容について、積極的な質問やコメントが寄せられ、有意義で充実した見学会となりました。



港湾業務艇「さんせと」船内から

「アイランド・スカイ」高松港初入港



アイランド・スカイ寄港時の様子

4月17日にクルーズ船「アイランド・スカイ」が高松港へ初入港しました。アイランド・スカイは全長91m、乗客定員約100人の小型探検クルーズ船で南極にも航行できるとのことです。出港時には高松城鉄砲隊の演武もあり多くの人で賑わっていました。令和8年の高松港へのクルーズ船寄港数は、昨年より1隻増の22隻の予定です。本年も国内外のお客様で高松港がにぎやかになることが期待されます。

●高松港湾・空港整備事務所
〒760-0064
高松市朝日新町1-30
高松港湾合同庁舎3階(南側)
TEL087-851-5522

●坂出港分室
〒762-0002
坂出市入船町1-5-26
TEL0877-46-0311



国土交通省・四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページ】



【X(旧 Twitter)】



お気軽にアクセスしてください♪
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル
おーいによくなれみなと
0120-497-370
受付時間*：9:30～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) *一部の地域を除きます。

